

東金市の歴史マップ

きゅうみなもとむら
⑪ 旧源村
 源村は「明治の模範村」として国内外で紹介された村でした。その足跡は石碑として源地区の各地に残っており、その中の一つ、「源村育英基本林」の碑が、源公民館にあります。
 ☆住所：東金市上布田 22-1



おじゃがいけ
⑩ 雄蛇ヶ池
 江戸時代初期に代官嶋田伊伯が中心となり造成した貯水池で、東金の治水に貢献しました。水と自然あふれる観光スポットです。
 ☆住所：東金市田中 200



みょうきょうじ おおぬまただんりんあと
⑨ 妙経寺 (大沼田檀林跡)
 江戸時代に「大沼田檀林」という、僧の学校のあった場所です。妙経寺は徳川秀忠が鷹狩りの際に立ち寄ったことがきっかけで、御朱印地を賜りました。
 ☆住所：東金市大沼田 457



じょうかくじ
⑧ 常覚寺
 常覚寺は、関寛斎の養父である関素寿を讃える石碑があり、付近には関寛斎が通っていた「製錦堂」(関素寿の私塾)がありました。また、関寛斎は常覚寺の近くで医院を開いたといわれています。
 ☆住所：東金市前之内 320-1



ほんぜんじ
① 本漸寺
 戦国時代に東金を支配した「東金酒井氏」の菩提寺でもあった寺院です。本漸寺の裏山は、東金酒井氏の居城だった「東金城跡」(市指定文化財)です。
 ☆住所：東金市東金 1423



さいふくじ
② 最福寺
 最福寺は八鶴湖を一望できる寺院で、徳川家康と日善上人の銅像などがあります。日善上人は家康が東金に来訪した時の住職で、家康に駿府へ招かれるほどの交友がありました。
 ☆住所：東金市東金 1693



ひよしじんじや
③ 日吉神社
 東金に古くから鎮座する神社の一つです。江戸時代初期の改築と伝わる本殿や、徳川家康が植樹させたという表参道の杉並木、神使であるサル石像(どちらも市指定文化財)等があります。
 ☆住所：東金市大豆谷 860-1



たまじんじや
④ 田間神社
 田間神社は東金酒井氏が祀った「第六天宮」からはじまる神社です。東金酒井氏が所有する城であった「田間城跡」の一部に、現在の本殿があります。
 ☆住所：東金市田間 2126



やさかじんじや
⑤ 八坂神社
 正徳2(1289)年、鎌倉北条氏による勧請と伝えられる神社です。八坂神社の神使である牛の石像(市指定文化財)や、県指定文化財の本殿内殿等があります。
 ☆住所：東金市松之郷 1296



みょうせんじ
⑥ 妙宣寺
 護良親王の息女である華蔵姫が開基と伝わる寺院で、本堂には市指定文化財の大絵馬があります。境内にある仁王門の金剛力士像は必見です。
 ☆住所：東金市家之子 1384



なるとうとうがねしよくちゅうしよくぶつぐんらく
⑦ 成東・東金食虫植物群落
 日本で数少ない「食虫植物」の群生地で、大正9(1920)年7月17日に、日本で最初の国指定天然記念物に指定されました。モウセンゴケなど8種類の食虫植物が生育しています。
 ☆住所：山武市成東島字畑田 464-7 ほか



東金市の文化財を見てみよう！

～東金市デジタル歴史館の紹介～



「博物館」や「資料館」がない東金市ですが、東金市の文化財を身近に感じてもらうため、インターネット上に「東金市デジタル歴史館」をオープンしました！パソコンやスマートフォンがあれば、いつでもどこでも東金市の文化財をお楽しみいただけます。

QRコードは↓



<東金市デジタル歴史館でできること>

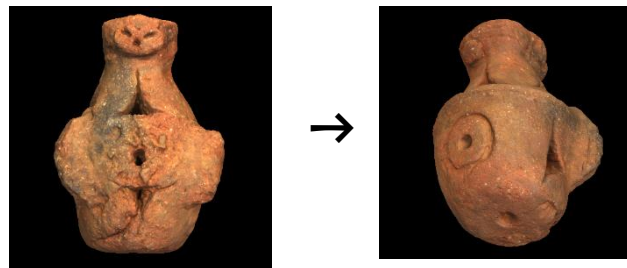
①高精細画像で細部まで見える！

2D画像の多くは高精細画像のため、細部まで見ることができます。画像を拡大すれば、小さな文字もくっきり見えます。



②3D画像で前後左右に動かせる！

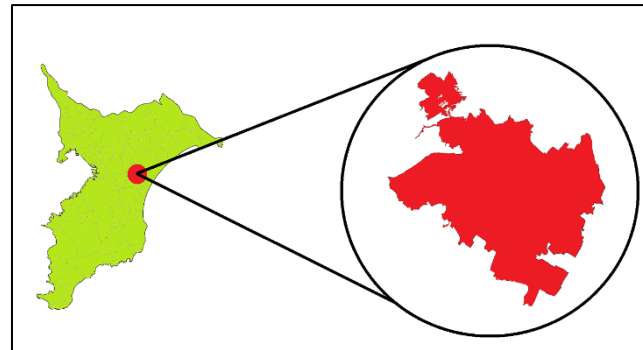
考古資料の一部は3D画像を掲載。土偶や石器等の向きを変えて見ることができます。お好みの角度でご覧ください。



たくさんの史料があなたの「来館」を待っています！



東金市ってどんなまち？



東金市は、東京都心まで約60キロメートル、千葉県のほぼ中央部に位置しています。古くは旧石器時代からの遺物が確認された、歴史の古いまちです。鎌倉時代～安土桃山時代にはいくつもの城が築かれ、江戸時代には問屋町として栄えるなど様々な変化を遂げていきました。今でも残る歴史の名残を、このマップ片手にお楽しみください。

アクセス

<お車をご利用の場合>

- ・東京から…約70分
(ルート例) 京葉道路 or 東関東自動車道→千葉東JCT→千葉東金道路→東金
- ・成田空港から…約60分
(ルート例) 芝山はにわ道→国道126号→東金
- ・川崎から…約90分
(ルート例) 東京湾アクアライン→圏央道→東金

<電車をご利用の場合>

- ・東京から…約90分
(ルート例) 総武快速線→外房線→大網駅→東金線→東金駅
- ・成田空港から…約80分
(ルート例) 成田線→総武本線→成東駅→東金線→東金駅

問い合わせ先

東金市教育委員会
教育部生涯学習課文化学習振興係
電話：0475-50-1187
Eメール：syogai@city.togane.lg.jp

東金市の歴史マップ



東金市公式キャラクター
とっちー



この写真はどこの写真かな？
答えはこのマップを
探すと見つかるよ！

<東金市のキーパーソン>

・徳川家康

三河(現愛知県)の戦国大名で、織田信長・豊臣秀吉と共に「戦国の三英傑」に数えられる人物です。征夷大將軍として江戸に幕府をひらいたことでも有名です。徳川家康と東金の関わりで特筆すべきは「鷹狩り」です。家康は度々東金に來訪し鷹狩りをしており、家康の命により、船橋から東金を結ぶ「御成街道」が整備されました。また、現在千葉県立東金高等学校のある場所には、家康が宿泊する「東金御殿」が建っていました。本漸寺(地図番号①)には、家康が植えたとされる「お手植え蜜柑」の子孫木があります。写真は、最福寺(地図番号②)にある家康の銅像です。



・関寛斎

幕末～明治時代に活躍した、東金出身の医者です。関素寿の養子となり、常覚寺(地図番号⑧)付近の「製錦堂」に通いました。その後佐倉順天堂で医学を学んで医者となり、東金や銚子での開業、長崎留学等を経て徳島藩に医者として仕えます。戊辰戦争が起こると徳島藩は新政府軍に属したため、寛斎も軍医として従軍します。治療技術の高さを評価された寛斎は「奥羽出張病院」の頭取となり、敵味方問わず治療を施します。戊辰戦争後は徳島で医学校や附属病院の設立に努めます。のち徳島で医者を開業しますが、明治35(1902)年、関寛斎72歳の時に北海道に移住し、現在の陸別町を開拓しました。写真は、東金中央公園にある関寛斎の胸像です。

